

福島第一・福島第二冷却機能トラブルにおける社長による社内指示について

12時頃、原子力・立地本部長：姉川、廃炉推進カンパニープレジデント：増田
に対して、口頭指示。

17時頃、テレビ会議を通じて、福島第一および福島第二原子力発電所の所員に
対して口頭指示。

【指示内容】

- ・ 温度上昇に時間的余裕があり、短時間で機能を復旧したとしても、冷却が停止したという事実は、社会の皆さま、とりわけ地域の方の計り知れない不安を与える。
- ・ 住民の方の帰還、そして地域の復興を全力で支援していくべき当社が、逆にその足を引っ張るようなことはあってはならない。
- ・ そのことを踏まえ、2点指示する。

事故から5年以上経っており、「応急的な設備だから仕方ない」という言い訳は通用しない。冷却をはじめとした重要機能の停止を起こさないよう、徹底した対策をとること。

トラブルは地域の方に大きな不安を与え、復興に大きな影響を及ぼす。福島
島の復興は福島第一および福島第二の安全確保が大前提である。我々の双
肩には大きな期待と責任がかかっていることを肝に銘じること。